

ハギの仲間 (以下、「マルバハギ」で代替)

【 区画⑨(46) 】

がくめい 学名	<i>Lespedeza cyrtobotrya</i> Miq.	ぶんるい 分類	マメ科ハギ属
ぶんぶ 分布	ほんしゅう きゅうしゅう みちか さんや 本州～九州の身近な山野	じゅこう 樹高	ていど らくようていぼく 2m程度の落葉低木

〈 特徴等 〉

なまえ ゆらい 名前の由来	まるばはぎ いみ ・ 円葉萩の意味。ハギの名は古い株から芽を出すことからついた。			
は 葉の特徴	① じょうりよく 常緑	・ らくよう 落葉	② こうよう 広葉	・ しんよう 針葉
	③ たいせい 対生	・ ごせい 互生	④ たんよう 単葉	・ ふくよう 複葉
⑤ きよしえん 鋸歯縁	・ ぜんえん 全縁			
かいかとう 開花等	6～9月頃に、紫紅色(紫がかつた赤色)の花を密集させて咲かせる。			
けつじつとう 結実等	10～11月頃に、平たい楕円形の果実をつけるが、熟しても割れない。			
ほか その他	<ul style="list-style-type: none"> ぜんえん、ほめんが3つの小さな葉になった珍しい葉(三出複葉)をもつ。 みき、ほそ、そうほん、ちか、いんしょう、あた ・ 幹がとても細く草本に近い印象を与える。 			

〈 写真 〉

		
じゅもく 樹木 (5/12)	じゅひ 樹皮 (4/3)	は 葉の付き方 (5/12)
		
ふくよう 複葉のうちの一部 (小葉)		
は 葉 (6/12)	はな 花 (/)	かじつ 果実 (実) (/)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 554.
林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 231.